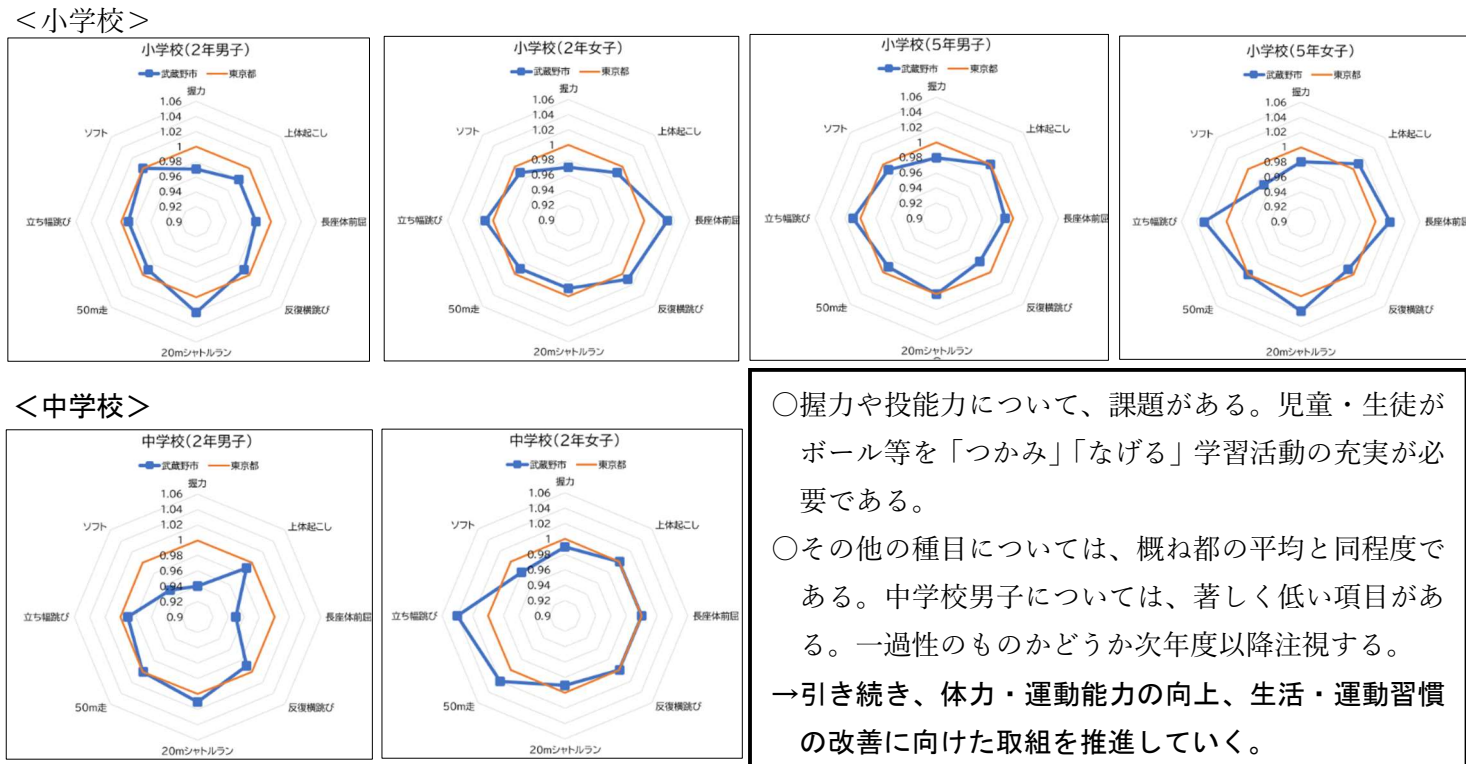


令和7年度 東京都児童・生徒 体力・運動能力、生活・運動習慣等調査報告

1 調査種目の結果と傾向

令和7年度 体力・運動能力結果 ※東京都の平均を「1」と見た時の武蔵野市の状況



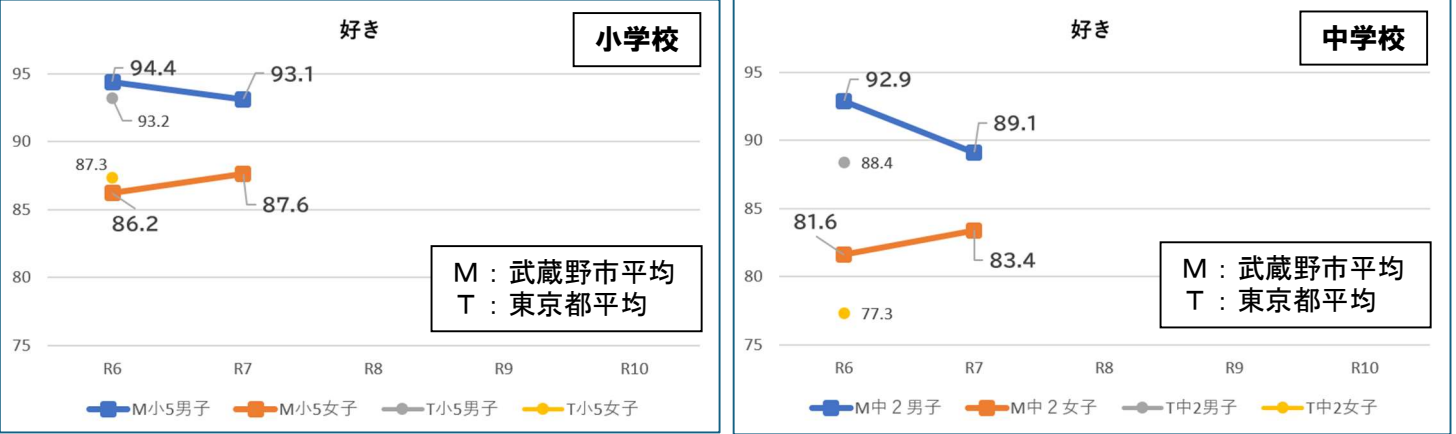
○握力や投能力について、課題がある。児童・生徒がボール等を「つかみ」「なげる」学習活動の充実が必要である。

○その他の種目については、概ね都の平均と同程度である。中学校男子については、著しく低い項目がある。一過性のものかどうか次年度以降注視する。

→引き続き、体力・運動能力の向上、生活・運動習慣の改善に向けた取組を推進していく。

2 第四期武蔵野市学校教育計画 注目する指標

【運動（体を動かす遊びを含みます。）やスポーツをすることは好きですか】
※第四期武蔵野市学校教育計画 方針Ⅱ 施策（5）② 取組4 体力向上や健康の保持増進の取組



※今年度の「東京都平均」は、1月下旬発表のため、次年度の報告の際に示す。5年間(R6～R10)の変化を基に研究し、今後の取組に生かす。

○小学校5年生女子は、令和6年度において東京都の平均より若干引くなっているものの、今年度は上昇傾向であった。

○その他の学年等では、都の平均より高くなっている。各校における運動の魅力が伝わる指導の工夫による成果であると考える。

→引き続き、運動の実感できる体育指導の充実を図っていく。

質問紙調査に係る考察①

○「運動の上達」と「運動が好き」の相関関係

運動が上達できた経験があることと、運動・スポーツが好きであることには強い相関がある。

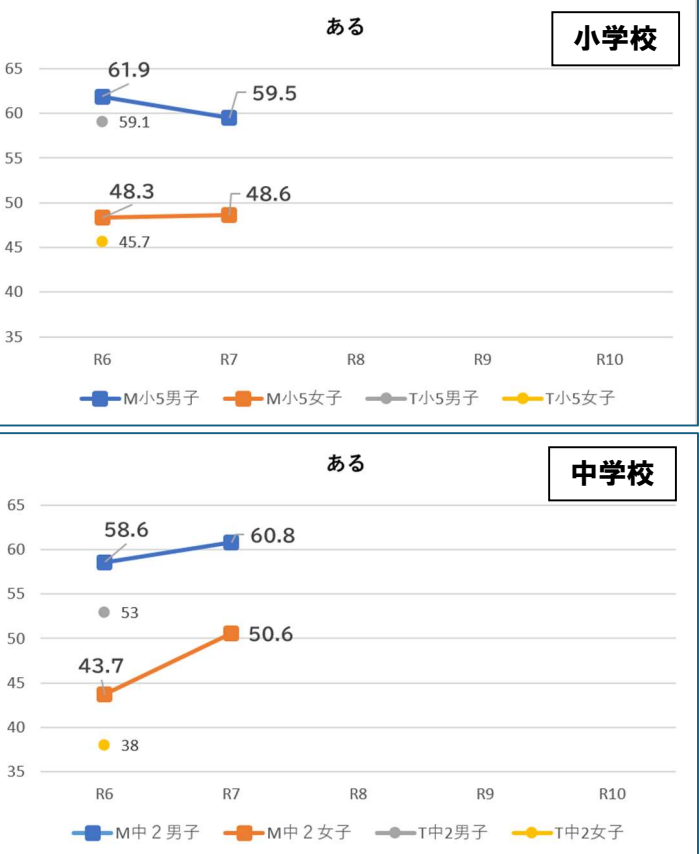
運動の上達 × 運動好き	体育の授業で、 できるようになったことが「ある」		体育の授業で、 できるようになったことが「ややある」	
	運動・スポーツを することは好きか		運動・スポーツを することは好きか	
	好き	やや好き	好き	やや好き
小学校 5 年生男子	91.6	6.6	51.3	39.6
	98.2		90.9	
中学校 2 年生男子	86.2	11.5	81.1	14.8
	97.7		95.9	
小学校 5 年生女子	82.6	16.2	51.8	31.6
	98.8		83.4	
中学校 2 年生女子	45.6	35.6	31.1	48.9
	81.2		80	

※令和6年度に引き続き相関関係があった。

○都の平均より高くなっている。中学校女子においては、より数値が向上した。系統的な指導を行うとともに、児童・生徒が個に応じた運動課題に取り組むことのできる授業展開が各校で実践された成果と考える。

【関連項目経年変化①】

【授業で、上手に体を動かして運動できるようになっている】



質問紙調査に係る考察②

○「運動の大切さ」と「運動が好き」の相関関係

運動の大切さを理解していることと、運動・スポーツが好きであることには強い相関がある。

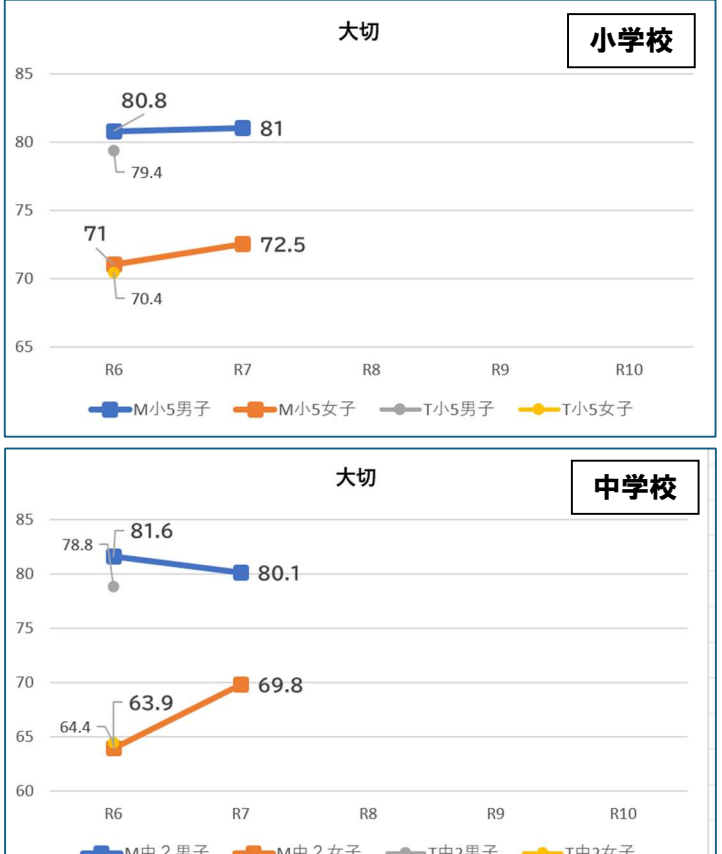
運動大切 × 運動好き	運動・スポーツは 「大切」 運動・スポーツを することは好きか		運動・スポーツは 「やや大切」 運動・スポーツを することは好きか	
	好き	やや好き	好き	やや好き
小学校5年生男子	85.3	12.4	19.2	62.8
		97.7		82
中学校2年生男子	84.3	13.1	7.5	62.5
		97.4		70
小学校5年生女子	79	17	21.5	54.2
		96		75.7
中学校2年生女子	73.8	23.2	10.5	52.6
		97		63.1

※令和6年度に引き続き相関関係があった。

○概ね都の平均より高い水準にある。引き続き運動・スポーツに親しむとともに、体育科の指導内容である「公正」「協力」などについて学びを深める授業の工夫を行うことが必要である。

【関連項目経年変化②】

【あなたにとって運動やスポーツは大切ですか】



質問紙調査に係る考察③

○「自信と意欲」と「運動好き」の相関関係

失敗を恐れず挑戦をすることと、運動・スポーツが好きであることには強い相関がある。

挑 戦 × 運動好き	失敗を恐れずに挑戦していますか 「している」		失敗を恐れずに挑戦していますか 「ややしている」	
	運動・スポーツをすることは好きですか		運動・スポーツをすることは好きですか	
	好き	やや好き	好き	やや好き
小学校 5 年生男子	87.3	9.4	69.6	25.3
	96.7		94.9	
中学校 2 年生男子	89.8	7.4	69.5	24.2
	97.2		93.7	
小学校 5 年生女子	84.4	13.3	61.5	28.5
	97.7		90	
中学校 2 年生女子	83.6	11.9	50.4	37.4
	95.5		87.8	

※令和 6 年度に引き続き相関関係があった。

- 小学校男子を除いて、都の平均より高い水準にあるが、小学校女子は低下傾向を示している。
- 体育の授業や体育祭等において、発達段階に応じた挑戦課題を提示するとともに、挑戦に対する教師の価値付けが重要である。

質問紙調査に係る考察⑤

○運動習慣と「自信と意欲」の相関関係

運動習慣が身に付いていることと、失敗を恐れず挑戦することには強い相関がある。

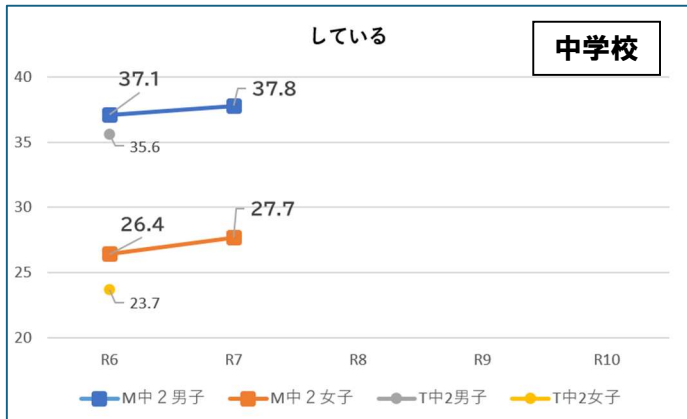
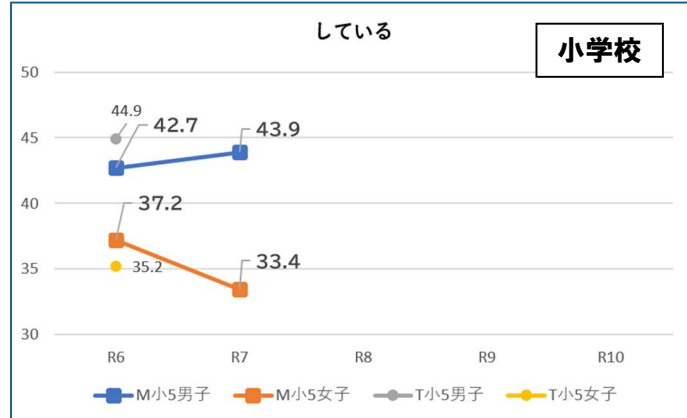
運動習慣 × 挑 戦	運動やスポーツの実施状況(授業以外) 「ほとんど毎日」		運動やスポーツの実施状況(授業以外) 「ときどき」	
	失敗を恐れずに挑戦		失敗を恐れずに挑戦	
	している	ややしている	している	ややしている
小学校 5 年生男子	54.3	38.2	33.1	41.4
	92.5		74.5	
中学校 2 年生男子	45.1	47.5	24.5	42.9
	92.6		67.4	
小学校 5 年生女子	43	48.7	29.4	44.1
	91.7		73.5	
中学校 2 年生女子	32.8	48.2	36.4	38.6
	81		75	

※令和 6 年度に引き続き相関関係があった。

- 都の平均より高い水準にある。小学校においては、引き続き運動して遊ぶ魅力を体感できるようにするとともに、他課と協働して、運動に親しむ機会を確保する。
- 中学校においては、日常的に運動に親しむことの大切さを理解できるようにするとともに、運動部活動の充実を図る。

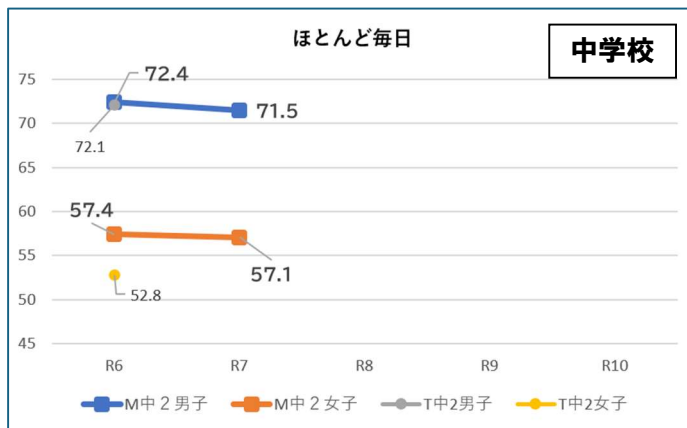
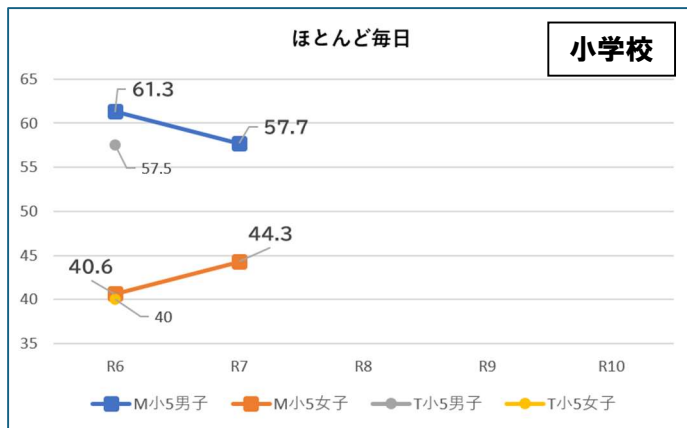
【関連項目経年変化③】

【どんな目標でも失敗を恐れずに挑戦していますか】



【関連項目経年変化⑤】

【運動やスポーツをどのくらいしますか（授業以外）】



質問紙調査に係る考察④

○生活習慣と「自信と意欲」の相関関係

食事や睡眠など生活習慣が整っていることと、失敗を恐れず挑戦することには強い相関がある。

朝 食 × 挑 戦	朝食を 「毎日食べる」		朝食を 「ときどき食べない」	
	失敗を恐れずに挑戦		失敗を恐れずに挑戦	
	している	ややしている	している	ややしている
小学校 5 年生男子	46.2	38.4	28.6	44.6
	84.6		73.2	
中学校 2 年生男子	39	44.6	25.9	55.6
	83.6		81.5	
小学校 5 年生女子	33.9	46.8	29.8	42.1
	80.7		71.9	
中学校 2 年生女子	30.6	44	17.4	58.7
	74.6		76.1	

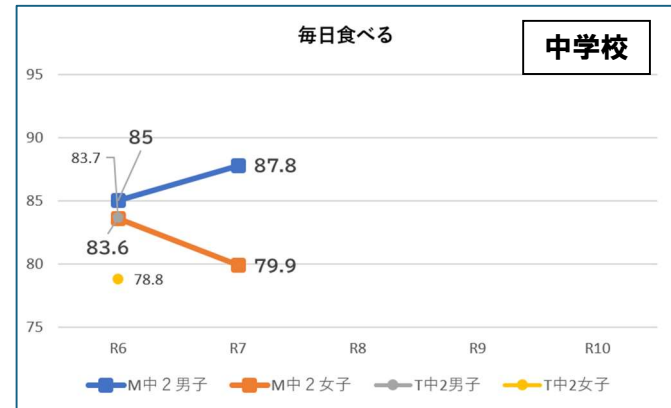
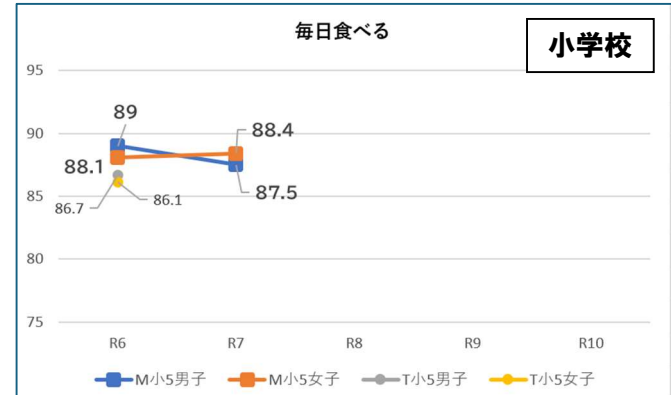
寝る時刻 × 挑 戦	寝る時刻は 「決まっている」		寝る時刻は 「ほぼ決まっている」	
	失敗を恐れずに挑戦		失敗を恐れずに挑戦	
	している	ややしている	している	ややしている
小学校 5 年生男子	62.7	24.1	38.8	46.3
	86.8		85.1	
中学校 2 年生男子	58.1	25.6	33.3	49.4
	83.7		82.7	
小学校 5 年生女子	48.8	38.8	35.1	49.5
	87.6		84.6	
中学校 2 年生女子	34.8	47.8	23.8	51
	82.6		74.8	

※令和 6 年度に引き続き相関関係があった。

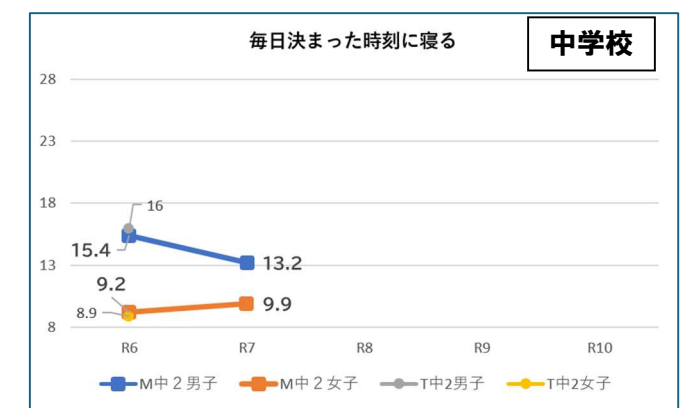
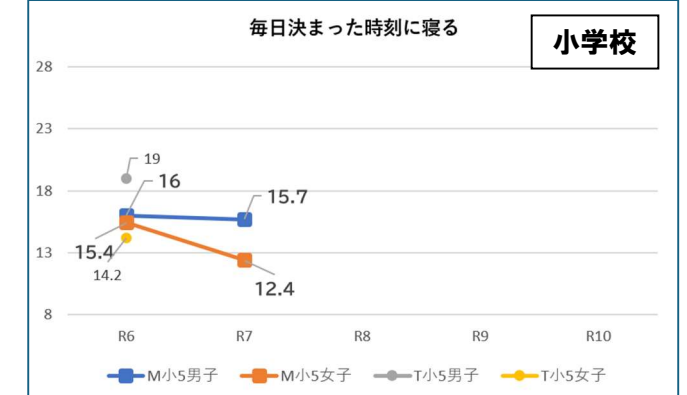
- 朝食については、都の平均より高い水準にある。保健指導・食育等の成果であると考ええる。
- 寝る時刻について、小学校男子では、都の平均より低い水準である。通塾の影響もあるが、規則正しい生活習慣の定着に向けた指導を引き続き充実させる必要がある。

【関連項目経年変化④】

【朝食は食べますか】



【寝る時刻は決まっていますか】



【体力・運動能力、生活・運動習慣の改善に向けて】

授業改善

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

夏季実技研修の活用促進

生活習慣

自信を高め意欲を育む教育活動の更なる推進・充実

家庭と連携した保健指導

運動習慣

運動習慣の醸成に係る教育活動の推進

実践例の収集及び周知

今後も本調査の経年変化等について、次年度の教育課程編成などに際し指導・助言する。